

資料2



高齢者生活支援プロジェクト 買い物支援ワーキングチーム

令和8年1月29日

福祉部高齢政策課
企画部SDGs推進課

「買い物支援ワーキングチーム」の立ち上げ

- 高齢者の生活支援のうち、特に要支援者のニーズが高い買い物支援に特化し、実現可能な具体的な事業展開を話し合うために、ワーキングチームを立ち上げる
- 構成員は、主に食品や日用品の販売・運送を扱う県内の事業者を想定

※チーム構成として事業者の業種を限定するものではない

まずは、次の4つの場面に対し、分科会を設けて課題等を検討していく

要支援者に対する買い物支援方法

- ①購入後配送（店舗で購入後の購入品の配送）
- ②移動販売（販売車による巡回での販売）
- ③個別宅への配送（特定施設への配送を含む）
- ④店舗への送客

分科会で課題整理・スキーム検討

支援方法別の検討内容(想定)

支援方法	要支援者が抱える問題(例)	検討内容(想定)
①購入後配送	荷物が重く、持てない	<ul style="list-style-type: none"> ・5,000円以上購入で配送無料といったサービスはある ・少額購入でも配送できないか (配送費は、利用者・介護保険料から)
②移動販売	徒歩圏内にない	<ul style="list-style-type: none"> ・市町がニーズのある場所を案内出来ないか →事業者と市町との情報共有の場が必要。市町と事業者との協議体を設置できないか 【参考例】川西市買い物支援ネットワーク ・とくし丸様のスキームで、要支援者宅へ出張できないか (時間が掛かる、購入額が少ない点は、介護保険料で補填できないか)
③個別宅への配送	注文できない	<ul style="list-style-type: none"> ・配送時に、次の注文を取れないか (時間が掛かる点は、介護保険料で補填できないか)
④店舗への送客	店舗への移動手段がない	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者との連携も含め、できることはないか 例:交通事業者が店舗へ送迎 費用は、利用者・介護保険料・事業者負担(交通、スーパー)

※検討内容は想定で、自由にご提案ください。

支援方法についても、例示の4つ以外にも考えられる方法があればご提案ください。

川西市買い物支援ネットワーク(参考)

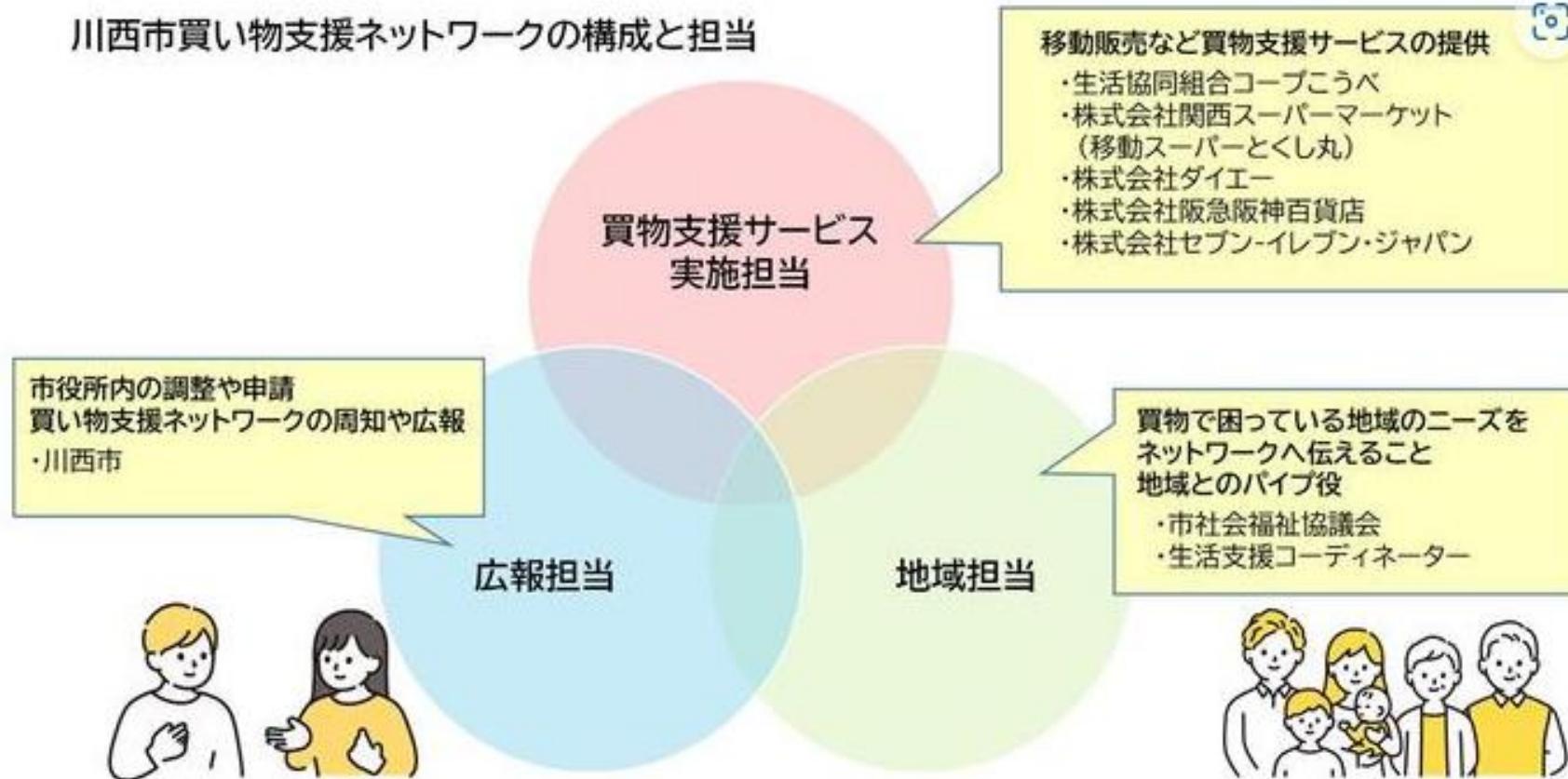
3

移動販売などによる買い物支援を進めています。

川西市は、日常の買い物に困っている地域の支援を行うため、移動販売を行う民間事業者や市社会福祉協議会などとともに、「川西市買い物支援ネットワーク」として買い物支援に関する取組みを実施しています。

この取組みは一時的な支援策ではなく、長く続けられるよう地域からのご協力もいただきながら進めます。

川西市買い物支援ネットワークの構成と担当



目的

市内で日常の買い物に困っている地域の情報を共有し、地域に合わせた方法での解決に向けて話し合い、解決に導くこと

今後の進め方

- ✓ 事業者様で検討の上、「買い物支援ワーキングチーム 及び 分科会」へ登録
 - ✓ 分科会登録事業者様に、分科会ごとに日程調整の上、検討・協議(オンライン)を実施
分科会では、2頁で示したもののはか、事業者様からご提案頂いたものを具体的に検討
 - ✓ 県と事業者様で事業スキーム(方法、費用等)を構築し、県内各市町に提示
実施意向の市町を含めた3者で個別協議し、トライアル試行
- ・次のサイトより、ご登録ください(2/17〆)

[買い物支援ワーキングチーム 参加意向および分科会登録フォーム](#)

- ※ 締め切り後、会議日時の調整を、分科会ごとに実施(日程調整は、当該分科会登録者に対してのみ実施)
- ※ 開催日決定後、ミーティングURLを送付 (URLは、ワーキングチーム全登録者に送付)

